

## 板橋区带状疱疹ワクチン予防接種費用一部助成のご案内

带状疱疹を発症する人が増加していることから、発症を予防するとともに区民の負担を軽減するため、带状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部を助成します。(※任意接種：予防接種法に定められていない予防接種。費用は全額自己負担が原則。)

区指定医療機関で所定の予診票に記入し接種を受け、医療機関の接種費用と助成との差額をお支払いください。助成を受けられるのは、生涯で1度のみです。

助成の内容		
対象ワクチン	助成回数	1回の助成額
生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	1回	4,000円
不活化ワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)	2回まで	10,000円

### 【対象者】

50歳以上の板橋区民で、今まで板橋区で助成を受けたことが無い方

### 【実施場所】

#### 区内指定医療機関

※1 板橋区民以外の方の受診及び、区内指定医療機関以外で接種した際の助成や償還払い(費用の返還)はありません。

※2 原則、事前予約が必要です。予約は医療機関に直接お問い合わせください。なお、医療機関ごとに接種費用(自己負担額)や取り扱われるワクチンが異なります。必ずご確認ください。

### 【持参する物】

板橋区民であること(住所、氏名、年齢)がわかるものをご用意ください。  
(健康保険証、運転免許証等)

### 带状疱疹の予防接種(生ワクチン、不活化ワクチン)を希望される方へ

#### ○带状疱疹とは

带状疱疹は、水ぶくれをともなう赤い発疹やピリピリとした痛みが、からだの片側に带状に現れます。痛みが徐々に増していき、日常生活や就労が制限されたり、夜も眠れなくなることがあります。

日本人の90%以上は、子どものときにかかった水ぼうそうの「水痘・带状疱疹ウイルス」が体内(神経節)に潜伏していますが、加齢や疲労、ストレスによる免疫力の低下で、80歳までに3人にひとりが発症しています。

発症した人のうち2割は、治ってからも辛い痛みが3か月以上続く带状疱疹後神経痛(PHN)になっています。

頭部や顔面に带状疱疹が出た場合、視力低下や失明、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性があります。

糖尿病やがん、新型コロナウイルス感染後遺症など、免疫力が低下する病気にかかったり、病気の治療のために免疫を消失されると発症しやすくなります。

#### ○新型コロナワクチンとの関係について

原則、新型コロナワクチンと他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを接種してから2週間後に接種できます。  
(同時接種はできません。)

### 【問合せ】

●予防対策課 …………… (3579) 2318  
●上板橋健康福祉センター …… (3937) 1041  
●志村健康福祉センター …… (3969) 3836

●板橋健康福祉センター …… (3579) 2333  
●赤塚健康福祉センター …… (3979) 0511  
●高島平健康福祉センター …… (3938) 8621

### 1 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

また、以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ 現在、妊娠している場合（生ワクチンのみ）
- ⑥ その他、医師が不適當な状態と判断した場合

### 2 予防接種の特徴と副反応について

	生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン） 販売名：ビケン	不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン） 販売名：シングリックス
ワクチンの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発症予防効果が中程度：発症予防効果は50～59歳で69.8%、60歳以上の方で51.3%</li> <li>○带状疱疹後神経痛の予防効果が中程度：60歳以上での带状疱疹後神経痛予防効果は66.5%</li> <li>○長期予防効果が低い：ワクチン接種後の予防効果は、1年目では62%、2年目には48%、5年目には43%まで低下</li> <li>○副反応の発現率が低い</li> <li>○基礎疾患等により打てない場合がある</li> <li>○接種料が安価で、1回接種のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発症予防効果が非常に高い：発症予防効果は50歳以上で97%、70歳以上で89%</li> <li>○带状疱疹後神経痛の予防効果が非常に高い：70歳以上での神経痛予防効果は85.5%</li> <li>○発症を長期に予防する：50歳以上の成人試験で、10年以上は80%を超える有効性</li> <li>○副反応の発現率が高い：注射部位の腫れや赤み、発熱や頭痛などの発現頻度が多い</li> <li>○接種料が高価で、（2か月後から6か月以内）に2回接種が必要</li> </ul>
接種を受けられない方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○化学療法やステロイドなど免疫を抑える治療をしている方</li> <li>○免疫力が落ちている方（HIV感染等）</li> <li>○妊娠していることが明らかな方</li> <li>○水痘ワクチンによる強いアレルギー症状（アナフィラキシーなど）を起こしたことがある方</li> <li>○カナマイシン、エリスロマイシンの抗生剤にアレルギー反応を起こしたことがある方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○带状疱疹ワクチンによる強いアレルギー症状を起こしたことがある方</li> </ul>
発生する可能性のある副反応	<p>注射部位 赤みや腫れ、硬結等</p> <p>過敏症 発熱、発疹、蕁麻疹、紅斑、そう痒</p> <p>皮膚 発疹、水疱性発疹、丘疹、带状疱疹</p> <p>その他 発熱、小脳運動失調（きわめて稀）</p> <p>※副反応は体の中で強い免疫をつくろうとするためといわれており、3-7日以内に多くの副反応は弱くなります。7日を越えて副反応が強い場合、医師に相談してください。</p>	<p>注射部位 疼痛、赤み、腫れ、かゆみ、熱感、発疹等</p> <p>消化器 吐き気、下痢、腹痛</p> <p>精神神経系 頭痛、めまい、不眠症、眠気等</p> <p>筋・骨格系 筋肉痛、関節痛、背部痛、首の痛み</p> <p>感染症 インフルエンザ、鼻咽頭炎</p> <p>その他 疲労、悪寒、発熱、倦怠感、痛み、無力症、食欲不振等</p>

#### 【女性への注意事項】

妊娠している人又はその可能性がある人は、生ワクチン予防接種不適當者として接種することができませんので、出産後又は妊娠していないことが確認された後、適当な時期に接種を受けてください。

接種に当たっては、接種を受ける医師へご相談ください。なお、接種後2か月間は、妊娠を避ける必要があります。

※予防接種の特徴と副反応については、各ワクチン添付文書及び「2022版予防接種に関するQ&A」等を参考としています。

### 3 予防接種による健康被害救済制度について

ワクチンの接種を受けた後に、極めてまれに重い副反応が生じることがあります。この予防接種は、予防接種法に基づく「定期接種」ではなく、被接種者の希望による「任意接種」のため、予防接種が原因で健康被害が生じた場合の救済制度が異なります。

任意接種は「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」による救済の対象となります（独立行政法人医薬品医療機器総合機構：TEL 0120 (149) 931）。また、重篤な被害により障がいが残る場合等には、「特別区自治体総合賠償責任保険」の給付の対象となる場合がありますので、速やかに板橋区保健所予防対策課までご連絡をお願いいたします。